

ま 真室川町

# 議会だより

2026年4月27日

No. 174



地域交流センター実施設計へ(3月定例会のあらまし) ..... 2

町政を問う (5人登壇)..... 7~

- ・さらなる子育て支援の充実をめざして
- ・企業参加の森づくりで関係人口を
- ・観光資源活用で交流人口の増加を
- ・新庄・真室川ICによる交流人口の増加対策は
- ・高齢になっても暮らしやすい町づくりを

北部小学校入学式

# 地域交流センター実施設計へ

## 令和10年度完成の見込み

### 予算審査特別委員長報告

(要旨)



予算審査特別委員長  
佐藤 正

**一般会計**  
歳入では、個人町民税は給与所得や農業所得の増加を見込み3093万円の増。ふるさと納税返礼品の主力の米は今後も多くの需要が見込まれる。PRと十分な量の確保につとめつつ、体験型も含めた新たな返礼品も充実し、関係人口拡大とより一層の寄付額増加を期待する。

記念映像上映会、式典など。町民はもとより、町出身者、町との縁がある方々などに幅広くPRし、交流人口・関係人口の増加を図りたい。学童クラブの運営は町直営とし、支援員の専門性を高め、保育と質の向上を図る。人員の充足と、児童が楽しみながら質の向上を実感できる運営に努められたい。

#### 町立病院事業会計

医師・スタッフの確保、リハビリ機能の強化、施設の長寿命化対策など、地域医療の拠点施設として、安心して医療を受けられるよう、また、特定看護師の養成を図りつつ、さらなる医療体制の確立、医療サービスの向上、病院の安定経営に期待する。

**梅里苑事業会計**  
指定管理者により、キャンプ場、周辺施設など一体的・効率的に運営されている。指定管理者の創意工夫、柔軟な運営でさらなる利用増を期待する。

#### 〔一般会計〕

#### ◇地域交流センター建設事業

姉崎園子委員 地域交流センターの今後の計画は。

**教育課主幹** 現在、基本設計を実施している。町民の方にもワークショップに参加してもらい、アイデアを出しあっている。基本設計は6月末までかかる見通しである。実施設計を令和8年度中に行う。併せて武道館の解体、荒整地まで行う。建設は令和9年度、10年度2ヶ年を予定。11年度に既存の公民館の解体外構の工事を予定している。

**姉崎園子委員** 町民の皆様より多くの意見をもらい、利用する方々の目線に立ち多くの方々が安心して利用できる施設となることを望む。

**鳥獣被害対策**  
八畝重一委員 鳥獣被害対策実施隊の隊員定員、職業構成、年齢条件、狩猟免許等の補助条件との関係は。

**農林課長** 定員は15人程度を想定している。職業構成は勤め人が約8割、自営業が約2割。安全に捕獲活動を行う体力や健康状態を考慮し、概ね75歳での引退を予定している。また、最低5年間の活動を求めることから、狩猟免許等補助の年齢条件は70歳としている。

**八畝重一委員** 実施隊の隊長は農林課長が務めるが、他にも多くの職責があるはず。後期高齢者でも現役で活躍している人は多い。農業など自営業の方が活動の中心となるよう体制づくりを進めてもらいたい。

**菅原道雄委員** 有害鳥獣対策では、話題はクマになりがちだが、作

物被害ではイノシシが主だ。箱ワナよりくくりワナのほうが有効ではないか。

**農林課長** 混在する地域の対応が難しい。クマガイノシシ用の細いワイヤーにかかった場合、危険な状況となり、銃で駆除するほかなくなる。町でもそうした事例があり、大変危険だったという。それ以降、実施隊ではくくりワナはやめようという申し合わせをした。

**八畝重一委員** 鳥獣被害対策実施隊の隊員定員、職業構成、年齢条件、狩猟免許等の補助条件との関係は。

**農林課長** 定員は15人程度を想定している。職業構成は勤め人が約8割、自営業が約2割。安全に捕獲活動を行う体力や健康状態を考慮し、概ね75歳での引退を予定している。また、最低5年間の活動を求めることから、狩猟免許等補助の年齢条件は70歳としている。

**八畝重一委員** 実施隊の隊長は農林課長が務めるが、他にも多くの職責があるはず。後期高齢者でも現役で活躍している人は多い。農業など自営業の方が活動の中心となるよう体制づくりを進めてもらいたい。

**菅原道雄委員** 有害鳥獣対策では、話題はクマになりがちだが、作

物被害ではイノシシが主だ。箱ワナよりくくりワナのほうが有効ではないか。



箱ワナ



くくりワナ

「有限会社 日本一安い餌の店」のカタログより

#### ◇特定地域づくり事業

協同組合制度

**八畝重一委員** 新たな取り組みである特定地域づくり事業協同組合制度について、先進地視察の目的は。

**企画課長** 特定地域づくり事業協同組合制度は、人口急減地域において人手不足に悩む複数事業者が組合を設立し、職員を無期雇用して季節ごとに異なる仕事へ派遣する「マルチワーカー」の仕組み。

**町長** 各地区に県職員とともに邪魔しながら、ハザードマップの説明会を実施する。有事の際に自主避難を円滑に促すため、普段から準備しておく必要がある。

**◇ハザードマップ**  
佐藤一廣委員 ハザードマップは1000年に一度の災害を想定しているというが、最近では発災間隔が短くなってきた。大丈夫か。

**総務課長** 災害の発生は県内でも多くなってきた。1000年に一度、とは最大の想定ということ。現段階でできる最大限の想定という考え方である。

**◇地域防災施設整備事業**  
佐藤成子委員 主な計画内容と目的は。

**総務課長** 旧役場庁舎跡地に地域防災施設を整備する計画である。災害時に住民の安全を守る拠点として消防車両2台の車庫、備蓄庫、避難スペースを有する施設を令和10年度にかけて整備する。令和8年度は建設予定地の旧役場庁舎の解体工事を行う。

#### ◇家庭用除雪機購入補助金

実績と内容は。

**佐藤栄子委員** 昨年度の申請は29件の申請があり、そのうち26件が家庭用で3件がトラクターのアクセサリーメントである。今年度は30件の申請の予算とし、限度額は最高10万円で、家庭用除雪機対応である。

**◇町民税**  
菅原道雄委員 久々に町税が予算の1割となる。今年度、米価が上がり農家所得が高かったためであったが13・

**◇エアコン購入助成**  
八畝重一委員 新規事業である家庭用エアコン設置購入助成事業の内容は。民生委員などの口コミも活用し、必要な人に届くよう丁寧な周知をしてもらいたい。

**福祉課長** エアコンが無い、または故障により使用できない住民税非課税の高齢者世帯等に対し、設置費を含め上限5万円を助成する制度を計画している。県でも同様の事業が予定されているため、内

層子どもの主体性を大事にした保育を行っていく。

内容を参酌しながら制度設計を行う。

層子どもの主体性を大事にした保育を行っていく。

#### ◇学童クラブ

八畝重一委員 学童クラブ運営見直しとあるが運営方法、改善点、職員体制は。

**教育課長** 令和8年度から、町が直接運営を行い、教育保育に精通した施設長や保育主幹の配置、放課後児童支援員の資格のある保育士を配置し、年間計画や毎月の保育計画の作成を行い、計画に沿った保育の実施や配慮が必要なお子さんへの対応など、各小学校との連携を十分に図り、一

併70周年記念事業の内容は。

**総務課長** 10月25日に記念式典と記念映像上映会を開催する。記念誌の作成や、中川木鈴版画作品を用いたカレンダーを作成し、全世界へ配布。

併70周年記念事業は、記念映像と記念誌の作成、

併70周年記念事業は、記念映像と記念誌の作成、

併70周年記念事業は、記念映像と記念誌の作成、





### ◆医師住宅建築工事 佐藤栄子委員 工事の内容は。

病院事務局長 4月1日から新しい医師が着任される。そのための医師住宅である。現在ある東町2地区の医師住宅並びに同規模の住宅を建築予定である。

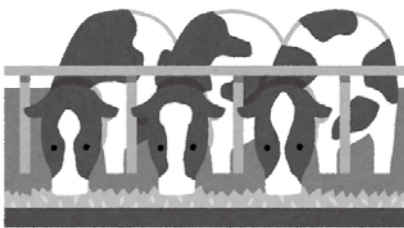
### ◆特別支援学校通学支援事業 姉崎園子委員 特別支援学校通学支援事業の内容は。

福祉課長 特別支援学校に通学している児童に一カ所に集まってもらい学校への送迎を考えている。

### 【病院会計】

### ◆特定看護師 姉崎園子委員 特定看護師の養成は。

病院事務局長 特定看護師は、特定行為研修を修了することで、医師の医療行為のうち、特定の行為ができるようになる。医師の不在時でも看護師が対応でき、医師の負担軽減につながる。10月から県看護協会が研修機関となると示されたため、意欲のある看護師を順次受講させていきたい。



### ◆空き家解体助成 佐藤栄子委員 空き家解体助成事業費補助金の内容は。

町民課長 令和7年度は住宅や作業小屋など34件の解体申請があった。解体助成費用は、町内業者に依頼した場合、住宅の解体費用1/2（上限50万円）作業小屋（上限30万円）で、町外業者の場合は同様に住宅（上限50万円）作業小屋（上限20万円）となっている。

### ◆学童及び家庭的保育、乳児等通園支援事業の基準を定める条例 佐藤成子議員 支援事業の内容、利用方法は。

教育課長 保護者の就業要件を問わず、0歳6ヶ月から満3歳未満の保育所等に通っていない児童が月10時間まで保育施設を利用できる制度。  
利用方法は、①登録・申請②面談予約④利用と支払い、の順になっている。

### ◆鳥獣被害対策実施隊の設置条例 八鍬重一議員 鳥獣被害対策実施隊は、消防団と同様に地域の安心・安全を守る組織であり、条例化は評価できる。組織体制と災害補償はどのようになるのか。

農林課長 組織体制は鳥獣被害防止対策協議会で規定している。隊長は農林課長、副隊長は猟友会会長。隊員の身分は非常勤特別職となるため、別条例により災害補償の対象となる。  
姉崎園子議員 実施隊員の条件は。  
農林課長 ワナ免許、狩猟免許のいずれかを取得されている方で狩猟者登録をされている方である。隊員の年齢は、概ね75歳までと考えている。



### ◆産業振興条例の一部を改正する条例の制定 議案第8号

小松正弘議員 福利厚生施設の整備に対する補助金の増額と適用期間の延長を行う改正だが、活用の見込みはあるのか。  
企画課長 町内企業から、社員寮の整備に活用できる補助制度はないかとの相談があった。今後そうした企業が増えることが想定されることから、他制度との整合を計りながら拡充した。

### ◆町立病院一部負担金等改正 姉崎園子議員 月2回と退院時の請求書の発行を月末と退院時とする理由は。

病院事務局長 高額療養費制度により、所得に応じた自己負担の限度額があり、予め限度額適用認定証を示すと窓口での負担は限度額までとなり、以前のよう大きな負担になっていないと考えている。分かりにくい、煩わしいのご意見もあり、今回改正するもの。

平野勝澄議員 自動車使用料とセカンドオピニオン外来診療料のこれまでの対応と改定内容は。  
病院事務局長 自動車使用料は、訪問診療や看取りの際の移動費の負担をお願いしている。これまで、在宅医療を進めるため、本来の料金を減免してきた。今回、減免後の料金に改正するもの。これまでと実負担は変わらない。セカンドオピニオンは、他の病院での診断内容を地元町の町立病院に相談されることがある。保険外対応であり、これまで診察代、文書料等の料金がいままでのため、料金を設定

残りがあり再度販売したようだが完売したのか、来年度は考慮しているか。  
企画課長 例年通り8月ころを予定している。再度販売した件については完売した。事前予約制で全戸に購入申込書を配布して周知している。これからも多くの町民に購入していただけるよう配慮し、来年度も3300冊の発行を計画した。



度はトライアルとして使用料は徴収しない。町で利用を呼びかけ、将来的に販売につながる形を目指したい。  
八鍬重一委員 自家用とはいえ製品事故が生じないよう、利用者との意思疎通を徹底すべき。生産振興につながるよう停滞させず進めていただきたい。

### ◆なめこ缶詰加工機械 八鍬重一委員 特用林産物の缶詰加工機械購入事業の概要は。

農林課長 原木なめこ生産振興の一環。町内で缶詰加工できる施設がなくなつたため、まず自家用の缶詰加工を目的に、缶詰のふたを巻き締める機械を町備品として購入する。  
町有施設に設置し農林課が管理する。8年

### ◆小規模農業機械購入支援 八鍬重一委員 元気な農業再生事業で拡充された、小規模農業者の農業機械購入支援の内容は。

農林課長 JA野菜生産組合員へのアンケートを参考に計画した。県事業の対象外となる

# 3月定例会

会期：3月5日～11日

3月定例会は、5日から11日までの7日間の会期で開かれ、条例改正・各種会計補正予算・令和8年度各会計当初予算など町長提出案件28議案を慎重に審議した結果、すべて原案のとおり可決・同意されました。

- 条例改正等……8件
  - 補正予算……6件
  - 新年度予算……8件
  - その他の案件……5件
  - 人事……1件
- 計28件  
すべて原案とおり可決・承認

# 鳥獣被害対策実施隊を設置

### 議案審議

#### 議案第3号

◆学童及び家庭的保育、乳児等通園支援事業の基準を定める条例  
佐藤成子議員 支援事業の内容、利用方法は。教育課長 保護者の就業要件を問わず、0歳6ヶ月から満3歳未満の保育所等に通っていない児童が月10時間まで保育施設を利用できる制度。  
利用方法は、①登録・申請②面談予約④利用と支払い、の順になっている。

#### 議案第5号

◆鳥獣被害対策実施隊の設置条例  
八鍬重一議員 鳥獣被害対策実施隊は、消防団と同様に地域の安心・安全を守る組織であり、条例化は評価できる。組織体制と災害補償

するもの。対応できる内容が限られることから大きな病院の半額程度で料金を設定した。

### 議案第16号

#### ◆一般会計補正予算

#### ◆中山間地域等直接支払交付金

八鍬重一議員 中山間地域等直接支払交付金について、当初予算の約3割が不用額となった理由は、

農林課長 事務処理担当者の高齢化や、今後5年間の耕作継続が困難との判断により、5協定・約67haが事業終了となったためである。

八鍬重一議員 事務処理担当者の担い手不足については、組織ごとの処理ではなく、広域で共同処理する方法が国からも推奨されている。広域化に誘導すべきではないか。

農林課長 協定ごとに条件が異なり、隣接組織への呼びかけも行ってきたが、耕作管理の負担が大きいことなどから実現には至っていない。今後も農業者と協議しながら検討していきたい。

#### ◆公園管理費委託料

佐藤成子議員 真室川公園敷地内と把握する

が増額になった理由は、建設課長 公園内第2駐車場周辺の障害木伐採委託料である。予想以上の本数となったことから増額となった。

#### ◆ステージ解体工事

佐藤成子議員 梅公園

にあるステージだと思いが解体後の活用は、建設課長 そのまま更地でいいのか検討していく。

#### ◆小中学校照明改修工事

小松正弘議員 真室川

小学校と北部小学校、真室川中学校の照明改修工事の内容は、

教育課長 真室川小学校と中学校は校舎全室と体育館・アリーナ、北部小学校は校舎全室をLED化する計画である。

#### ◆備品購入費

佐藤正議員 不用額とな

った理由は、教育課主幹 当初大型芝刈り機の購入を予定していたが小型で性能の良い物に変更したためである。



### その他の議案

- ◆町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業等の運営に関する条例制定
- ◆新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給基金条例廃止
- ◆一般職職員の給与に関する条例改正
- ◆水道事業給水条例改正
- ◆新庄市との新庄最上定住自立圏形成協定の変更
- ◆辺地総合整備計画の策定
- ◆過疎地域持続的発展計画の策定
- ◆指定管理者の指定
- ◆町道の路線変更
- ◆後期高齢者医療会計補正予算
- ◆病院事業会計補正予算
- ◆水道事業会計補正予算
- ◆公共下水道会計補正予算
- ◆梅里苑会計補正予算
- ◆副町長の選任

(※議案名は簡略標記しています)

## ■さらなる子育て支援の充実をめざして

教育長

### □必要な時に利用できる短時間託児事業を継続・対応していく



姉崎 園子 議員

議員 子育て支援センターでの土曜日午後、日曜日の託児受け入れは、  
教育長 安心して子育てができる環境を整備することを目的に、町独自の子育て支援事業「子どもスマイルスポーツ事業」を平日及び土日も含め利用できる短時間託児を行っている。生後3か月から小学校6年生までの児童を対象に、午前9時から午後5時までの間、最大4時間利用できる。利用希望日の2日前まで子育て支援センターに電話予約し、委託先である子育て応援団「あんよ」と調整し、中央公民館2階の和室や研修室で託児を行っている。子育て支援センターの開所・閉所に関わらず年末年始休業日を除き、土日・祝日も含め年間を通して利

用できる。

議員 病児保育の受け入れは、

教育長 病児保育は、病気や体調不良の際に通常の保育が受けられない子どもたちに適切なケアを行いながら保育を行うサービスである。当町においては、安全安心な子育て環境の1つとして、新庄市にある特定非営利活動法人「オープンハウスこんぺいとう」と協定を結び保護者の就労と児童の保育、看護を保障している。病児保育を市町村単独で実施することは、人的な確保や保育スペースの確保、施設の整備面など、多方面でハードルが高いと考える。

### ■情報発信を(仮)及位インターで

議員 情報発信の場、産直等を組み合わせた交流の場の提供を。  
町長 及位インターエッジ周辺に情報発信の場や休憩施設、産直等を組み合わせた交流拠点を整備されれば町への立ち寄りの促進や交流人口の拡大につながる可能性があると考え

理、運営を担う体制、人材確保等を考え、慎重に検討する必要がある。  
JR及位駅などの周辺環境については、地域の皆様のご意見も伺いながら、及位インター周辺エリアがどうあるべきか、引き続き検討する。



子育て支援センター「読み聞かせ&おしゃべり会」の様子

## 町政を問う「一般質問」とは

行政全般にわたり、町当局に対して事務の執行状況や将来における政策方針について、議員個人が問いただすものです。

(要約して掲載しています)

- 1. 姉崎 園子 議員 ..... P 7
- 2. 八鍬 重一 議員 ..... P 8
- 3. 佐藤 栄子 議員 ..... P 9
- 4. 小松 正弘 議員 ..... P 10
- 5. 佐藤 成子 議員 ..... P 11

次頁から



八鍬 重一 議員

## ■企業参加の森づくりで関係人口を

町長

□可能性を探りたい

本航空の方々が交流し、ふるさと住民登録制度の活用も含め、調査研究を進めていきたい。

## ■AI活用で行政業務の効率化を

議員 人口減少や職員数の制約が進む中、行政サービスの質を維持するためには業務の効率化が重要である。AIなどの導入スケジュールと課題は。

個人情報の管理や生成情報の正確性といった課題を踏まえ、検証や職員研修を行いながら段階的に活用し、住民サービスの向上につなげていきたい。



やまがた絆の森の活動(県作成パンフより)

町長 4月に策定したDX推進計画に基づき、AIなどの活用を進めている。AIについては令和7～8年度に導入検討を行う計画だが、今年度は会議録要約AIの試行や生成AI活用の環境整備を開始し



「やまがた絆の森」は企業と地域が協定を結び森林整備を行う取り組みで、本町でも過去に検討した経緯はあるが実施には至っていない。しかし近年はSDGsなど社会状況も変化している。釜淵地区と日

議員 森林の持つ価値を地域の力としてどう生かすかが大きな課題である。近年、企業が脱炭素やSDGsの取り組みとして自治体と連携し、森づくり活動に参加する動きが広がっている。企業の従業員が継続的に地域を訪れることで、関係人口の創出にもつながると考える。町の認識と、県の「やまがた絆の森」事業との連携の可能性は。

## ■観光資源活用で交流人口の増加を

町長

□交流人口の拡大を図るとともに町の魅力を効果的に発信してゆく



佐藤 栄子 議員

議員 当町では、平成27年度に第1次観光振興計画、令和元年に第2次観光振興計画を策定し「訪ねてよし、住んでよしの あがらしやれ真室川」を基本理念として観光施策を推進しているが、第2次観光振興計画以降の施策、今後の対応は。

町長 第2次計画では観光資源の魅力向上、特産品・真室川ブランドの振興ニーズの把握と情報発信、連携の体制づくりの見直しを行いながら施策展開をしております。具体的には、梅里苑への指定管理者制度導入による民間視点からのサービス向上、梅里苑敷地内キャンプ場の整備などに取り組み利用者増と成果がでている。一方で、山林、河川などの自然地域資源は災害の影響を受けやすく維持管理が困難

なことや、宿泊施設が限られている等課題がある。それらの成果と課題を踏まえ、関係人口の創出へとつなげる様に見直しを行いながら国が推進しようとしている「ふるさと住民登録制度」の詳細を把握した段階で、その活用を取り入れた第3次の観光振興計画を策定する方針である。

議員 観光資源の磨き上げはどうするのか。

町長 外部人材の視点も参考にしながら自然・地域資源、伝承芸能・継承を進めていく中で交流人口を増やす取り組みを進めてゆく。議員 イベント広場で

の事業開催予定は。町長 現在整備中の駅前広場は今年5月末に完成予定となっている。現在のところは未定であり、賑わい作りの場として活用して頂けれ

ばと思っている。議員 本町の食の教育大使緒方さんの伝承野菜レシピの活用についてはどうか。

人口減少の進行が避けられない中、更なる交流人口や関係人口の拡大を図ることも重要である。

町長 本町の食の魅力を発信するうえで有効な資源と考えている。



令和7年度の春まつりの様子



小松 正弘 議員

町長

### ■新庄・真室川ICによる交流人口の増加対策は

#### □近隣自治体や関係団体と連携し進める

議員 ①インターチェンジが開通して3年が経過した現在の交通量はどのようになっていくのか。

②インターチェンジ開通から、現在までの交流人口の動向は。

③今後のインターチェンジを利用した交流人口の増加に向けての対策は。

町長 ①町独自に実施している交通量調査では、開通前の一般道赤坂真室川線の令和3年度の交通量は1323台、令和5年度は17

79台、令和7年度は1829台と高い水準で維持している。

②コロナ禍以前には年間40万人前後で推移していたが、インターチェンジが開通した令和4年度は28万7000人、令和5年度は30万9000人、令和6年度は、7月の大雨災害の影響により、真室川まつりの中止やJR奥羽本線の長期運休、国道334号の通行止めなどが重なり27万8000人となった。

③通過点ではなく、目的的地として選ばれる町となる施策が必要。まず一つ目は、効果的な誘導と滞在につながる仕掛け。梅里苑、キャンプ場、真室川公園、歴史民俗資料館などインターチェンジからアクセスしやすい施設を拠点として、案内表示の整備や情報発信などに取り組んできている。

町に立ち寄ってみたくなる環境づくりを進めるとともに、目的的地となるために、町内の飲食店や特産品販売情報を発信・提供する機会を増やし、町内での消費や滞在につながる仕掛けを強化することが重要。二つ目は、イベントの磨き上げとPRである。四季のイベントを磨き上げ、SNSを活用した情報発信の強化である。本年度と来年度にPRポスター・プロモーション映像を制作、最大限に活用し、町の発信に努める。三つめは、来訪者を単なる観光客ととらえず、繰り返し訪れる関係人口へと発展させることが重要。「ふる



IC付近の町内への案内表示

さと住民登録制度」の動向を踏まえ、本町の関係人口を可視化し、継続的なつながりを強める取り組みを検討する。

交流人口の拡大と地域経済の活性化につながる施策を、近隣自治体、関係団体と連携し進める。

### ■高齢になっても暮らしやすい町づくりを

町長

#### □自分らしい暮らしを人生の最後まで送れるような地域づくりに努めていく



佐藤 成子 議員

議員 高齢者の見守り体制の現状は。

町長 保健師、ケアマネジャー、ヘルパー、訪問看護、民生委員、社会福祉協議会などと連携し、日常生活に不安が感じられる世帯がある場合には、関係者が連絡を取り合って個別の見守りを行っている。

平成24年度からは県が主導する形で、高齢者宅を訪問する事業所と町とで見守りに関する協定を締結している。

今年度からは、緊急通報システムによる見守りを、新たに民間事業者に委託している。

以前のシステムではできなかつた人感センサーによる安否確認もできるようになった。

福祉関係者をはじめ地域の事業者による見守りや緊急通報システムによる見守りサービスにより、一人暮らしの高齢者等の見守り体制を充実させてきている。

「雪が降っても安心な生活への支援」としては、高齢者が冬期間安心して生活ができるよう事業者や地区の協力を得ながら除雪支援を行っている。日々の玄関前の除雪については町社会福祉協議会に地域共助除雪事業として委託を行い、地区の方々による除雪体制がある。

「在宅高齢者・介護者への支援」としては、介護度高い方を自宅で介護している介護者への激励金の支給、長期にわたり紙おむつを使用している方への紙おむつ支給、寝たきり等で介護タクシーの利用が必要な方への助成などの金銭的な助成と介護者の休憩や交流を目的とした介護者の集いを実施している。

「住み慣れた地域での生活支援」については、施策、事業等は実施できていると評価しているが、事業の改善、見直しも行いながら、今後も住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで送れるような地域づくりに努めていく。



# 1月臨時会

会期：1月21日

## 物価高騰対策商品券を発行

### 町民1人あたり2万円分

1月臨時会は、1月21日の1日間の会期中、開かれ、町長から提出された令和7年度補正予算2議案を慎重に審議し、原案のとおり可決されました。

#### 補正予算

#### ◆一般会計

#### ◎物価高騰対策



八鞆重一議員 国の交付金1億6千万円のほとんどを商品券交付事業に充てた考え方は、また、お米券も話題となっている。課題もあるが、米の消費喚起という点で効果も見込めるのでお米券と商品

券の組み合わせもできたのではないかと。総務課長 物価高騰対策として直接的に地域経済を活性化させる対策が必要との判断だ。お米券も国メニューとして推奨されているが、経費率が高いことから、地域商品券を選択した。佐藤栄子議員 地域経済活性化物価高騰対策商品券交付事業でコンビニでの使用は可能なのか。

企画課長 以前同様町内のコンビニでの使用は可能である。菅原道雄議員 議会上程前に新聞紙上で物価高騰対策の内容が掲載された。議会軽視ではないか。総務課長 お詫びする。

#### ◎選挙費

菅原道雄議員 2月8日は衆議院議員選挙投票日であるが「秋山スキー大会」も開催される。対応する職員に支障はないのか、又、選挙管理委員会事務局である町民課の職員に支障はないのか。

町民課長 限られた人数であるが可能な限り職員の協力をいただき業務に支障のないように対応していきたい。教育課主幹 スキー大会に支障なく運営がで

物価高騰対策、お米券の取り扱いが注目される中、電話取材に対して臨時会前に公表できない旨を前置きした上で、検討中の案を話した内容が掲載されたものの。情報の取り扱いについて慎重に対応するよう職員全体に指導していく。

きる。

#### ◎空き家空き店舗活用支援事業費補助金

小松正弘議員 補助対象の内容について伺う。

#### ◎畜産費の飼料価格高騰対策補助金

菅原道雄議員 対象の畜産農家は何名か、量はどのくらいか伺う。農林課長 22経営体が対象で、各四半世紀275トンを支援する予定。

#### ◎福祉灯油

平野勝澄議員 他の自治体では7500円を超えて上乗せしているところもある。町でもそういう考えは取れなかったか。

福祉課長 灯油助成は県の制度を準用している。町では額の増額はないが、対象範囲を拡大している。今後、他の自治体の動向を参考にさせていただく。



#### その他の議案

◆水道事業会計補正予算

## 請願

案件がありませんでした。

## 陳情

●東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情【提出者】

自治体職員をハラスメントから守る山形県民の会

代表 小林 秀一

※議員へ配布のみ

真室川町LINE公式アカウント @mamurogawa\_town

暮らしの話題 防災 新型コロナ情報をLINEでお届け！ QRコードをスマホで読み取って友だち追加してください

## 議会の傍聴

議会では、身近な問題がどのように審議され決定されていくのか。皆さんの代表者がどのように町民の意見や要望を反映させてくれているのかなど、本会議や予算・決算特別委員会等の状況を傍聴することができます。傍聴は、簡単な手続きで自由にできますのでお気軽にお越しください。ただし、次の約束事をお守りください。

### ■傍聴人の定数

・傍聴人の定数は35人です。

### ■傍聴の手続き

・傍聴席の出入口そばにありますが受付票に必要事項を記入し傍聴してください。

### ■傍聴の約束事

◆傍聴席に入ることができない方  
①銃器、刃物、棒その他他人に危害を加えるおそれのある物を携帯している方。

②ビラ、垂れ幕、たすきその他の議場に現在する者に対する示威的行為のために使用されるおそれがあるものと認められる物を携帯し、又は着用している方。  
③酒気を帯びていると認められる方。  
④その他会議を妨害し、又は他人に迷惑を及ぼすことを疑うに足りる顕著な事情が認められる方。

### ◆傍聴の方が守るべき事項

①議場における言論に対して拍手その他の方法により、公然と可否を、又は議場に現在する者に対して示威的行為をしないようお願いします。  
②携帯電話端末その他音を発する機器は、音を発しないようにしてください。  
③写真の撮影、録音、録画等をしないようにしてください。(特に議長の許可を得た方は除きます。)  
④その他議場の秩序を乱し、会議を妨害し、又は他人の迷惑となるような行為をしないようにしてください。



## 議会のうごき

令和8年1月～4月

- 1月27日(火) 最上広域市町村圏事務組合議会臨時会
- 2月5日(木) 最上地方町村議会議長会定期総会、最上市町村議会議長会定期総会、同議長・副議長合同会議
- 8日(日) 秋山スキー大会
- 13日(金) 県町村議会議長会定期総会
- 18日(水) 最上地区広域連合議会運営委員会、同全員協議会
- 24日(火) 町議会全員協議会
- 25日(水) 最上広域市町村圏事務組合議会議員懇談会
- 26日(木) 町議会運営委員会
- 27日(金) 最上地区広域連合議会定例会
- 3月3日(火) 新庄神室産業高校真室川校卒業式
- 5日(木)～11日(水) 町議会第1回定例会
- 14日(土) 真室川中学校卒業式
- 3月17日(火) 最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会、県町村議会議長会臨時総会
- 18日(水) 町立小学校卒業式
- 21日(土) たんぼぼこども園卒園式
- 22日(日) 真室川町グラウンドゴルフ協会定例総会
- 24日(火) 最上広域市町村圏事務組合議会定例会
- 26日(木) 町立保育所修了式
- 4月1日(水) 町議会議員協議会
- 6日(月) たんぼぼこども園入園式、保育所入所式
- 7日(火) 真室川中学校入学式
- 8日(水) 町立小学校入学式、新庄神室産業高校真室川校入学式

○議会広報常任委員会の開催 (3/30、4/3、4/9、4/14)

## 表紙の声

ご入学おめでとうございます

真室川北部小学校創立20周年を迎えた記念すべき  
新一年生の押切莉奈さんとご両親にお話を伺って  
きました。

**問** 小学校に入ってから一番楽しみのことは？

莉奈さん

体育の授業です。かけっこや跳び箱、バドミントン  
したいです。

もう一つは、バス通学です。お姉ちゃん・お兄  
ちゃん達とみんないっしょに帰ってくるのがとても  
楽しみです。

**ご両親から**

一人なので不安ではありましたが、式が終わって  
からすぐに上級生のみんなが集まってきて一緒に遊  
んでくれたり、声をかけてくれたりしている姿を見  
て、少人数の学校ではありますが団結力のある学校  
で、見ていてとても心強かったです。最初は慣れる  
まで大変なこともあるとは思いますが先輩方の姿を見て、楽し  
い学校生活を送ってほしいと思  
います。

インタビュー（佐藤成子）



## 議会事務局人事異動

前事務局長（建設課）

青柳 洋 児

新事務局長（福祉課より）

佐藤 守



お世話になりました。



よろしく願います。

傍聴お待ちしております

● 次回の定例会は

6月です

議会中継や、過去の本会議議事録は  
町ホームページでご覧いただけます。

URL

<https://www.town.mamurogawa.yamagata.jp/chousei/gikai/index.html>

お問い合わせは

議会事務局まで

0202-2220 (直通)



## 編集を終えて

2026年4月現在、中東情勢悪化に  
より燃料費や原材料費の高騰、物価上昇  
につながり企業収益や家計を圧迫など大  
変な事態が起きています。一刻も早く事  
態の沈静化を切に願ってやみません。

新年度予算では、地域交流センター事  
業や地域防災施設整備事業等予算が手厚  
く配分されています。今年度もプレミアム  
商品券発行事業が8月に予定されてい  
ます。また、病院会計では特定看護師の  
養成を図りながら更なる医療体制の確立  
医療サービスの向上を行っていく方向で  
す。

さて、議会だよりですがテーマカラー  
をグリーンに変更してリニューアルして  
います。いかがでしょうか。これからも  
皆様により親しみやすい紙面へと努力し  
てまいりますのでご意見等をお寄せくだ  
さい。  
(佐藤成子)

## 議会広報常任委員会

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 平野 勝澄 |
| 副委員長 | 佐藤 栄子 |
| 委員   | 八木 重一 |
| 委員   | 姉崎 園子 |
| 委員   | 佐藤 成子 |
| 協力   | 小松 正弘 |